

NEWS RELEASE

株式会社 すららネット
2020年11月13日

「すらら」の姉妹版「すららドリル」 神奈川県鎌倉市の全小中学校 25校、約4千名が学習開始 特別支援も含め、学校の授業や朝学習で活用

株式会社すららネット（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：湯野川孝彦）が提供する AI×アダプティブラーニング「すらら」の姉妹版「すららドリル」が、神奈川県鎌倉市教育委員会における EdTech 導入補助金を活用した実証事業の教材として採択され、全小中学校に導入されることとなりました。小学校6年生、中学校2、3年生及び全特別支援学級児童生徒の約4千名が学習を開始します。



すららネットは、「教育に変革を、子どもたちに生きる力を。」を企業理念とし、アダプティブな対話式 ICT 教材「すらら」を、国内では約1,400校の塾、学校等に提供しています。全国の有名私立中高、大手塾での活用が広がる一方で、発達障がいや学習障がい、不登校、経済的困窮世帯を含む生徒に学習の機会を提供するなど日本の教育課題の解決を図ることで成長を続け代表的な EdTech スタートアップ企業として2017年に東証マザーズに上場しました。

NEWS RELEASE

AI×アダプティブラーニング教材「すらら」は小学校から高校までの国語、算数／数学、英語、理科、社会 5 教科の学習を、先生役のアニメーションキャラクターと一緒に、一人一人の理解度に合わせて進めることができるアダプティブな e ラーニング教材です。レクチャー機能、ドリル機能、テスト機能により、一人一人の習熟度に応じて理解→定着→活用のサイクルを繰り返し、学習内容の定着をワンストップで実現できます。初めて学習する分野でも一人で学習を進めることができる特長を生かし、小・中・高校、学習塾をはじめ、放課後等デイサービス等においても活用が広がっています。すららドリルは、アダプティブなドリルと自動作問・採点機能を有するテストにより、学びの個別最適化を実現する「すらら」の姉妹版という位置づけで、主に公立小中学校で活用されることを想定し提供を開始しています。

鎌倉市では、新型コロナウイルス感染状況が続く中、今後休校等が発生した際に備え学びを止めない仕組みづくりに取り組んでいます。また、GIGA スクール構想の方針に則り、児童・生徒一人につき一台の端末の整備が進んでいます。「すらら」による EdTech 教材実証事業は 2020 年 11 月から 2021 年 3 月まで行われる予定で、鎌倉市内の 16 小学校、9 中学校の計 25 校が実証事業の申請を行い、計約 4 千名の児童・生徒が「すららドリル」で学習を開始します。授業や朝学習内で活用し、知識・技能の習得の可能性を探ります。「すららドリル」の持つ、AI を活用し無学年式で一人ひとりに合わせた学習を実現できる点を活かし、教員・児童生徒が ICT に慣れ、教員の負担軽減と児童生徒の自主的な学習習慣の確立を目指します。

すららネットは今後も、コンテンツの拡充や新サービスの拡大を図り、多様化する教育業界をサポートするとともに、学習者に新しい学習体験を届け、「大人になっても役に立つ真の学力」と「努力をすれば結果が出るという自信」を提供していきます。